

成年向け

お姉ちゃんの  
すぐきいじり







嫌ッ……

……だけど……

なんて臭い……

ほ…… 本当に  
する気なのか  
……？

やるしか  
ないんだ  
……！



私が我慢すれば  
二人を守れる……  
二人を守れるのは  
私だけ……！！

私が、二人を――

私達は  
とある騎空団に  
入団した

某日

有名な騎空団からの  
スカウトは とても  
光栄なことだった

充実した  
団の工房で  
私たちは思う存分  
腕を振るった

何もかも順調だった

そんな日常が  
崩れるなどと  
微塵も想像して  
いなかった程に



悲鳴が聞こえた気がしたが...

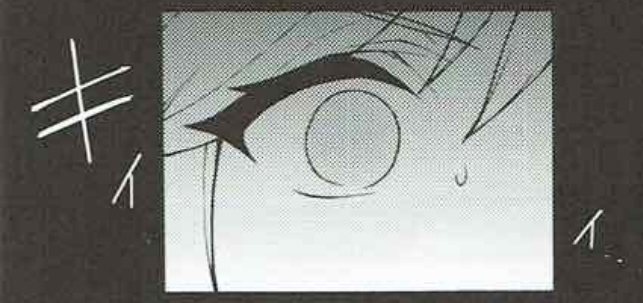
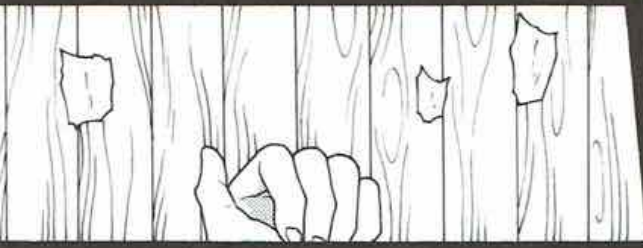
一応確認してみよう



お風呂  
いかないの？

？

先に行ってください





もっとお

あん  
イイ

!?

ちゅ  
ちゅ  
ちゅ



あはっ

あれは何  
ゼタ……か？

三人は

仲たったのか……？

もっもっも

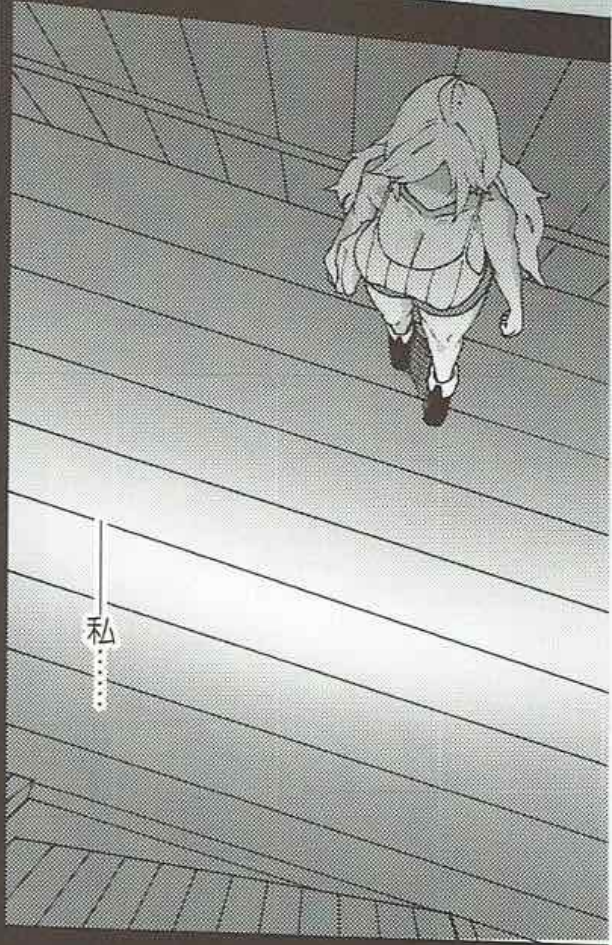
お

そんな素振りは  
無かったが……？

ちゅ  
ちゅ

ちゅ  
ちゅ







それからも  
私は団長室に  
聞き耳を立て  
そして 覗いた



ククルやクムユにも  
いずれ奴が手を  
出すかもしれない

そう考えると  
恐ろしくて  
仕方なかった

手当たり次第  
なのだろうか…?  
毎夜 種族関係なく  
女性団員と肌を  
重ねているようだった

強引という  
わけではない  
ようだったが  
……

工房



しかし…  
ククルはこの工房を  
とても気に入っている

この設備で  
技術を磨き  
成長する機会を  
奪いたくはない…

私が二人を  
守れば何の問題も  
ない——答…



二人に相談して  
船を降りる  
べきか…?





団長からの伝言です！

シルヴァ姉ちゃんは  
食事が済んだら  
団長室に  
来るようにって  
言ってたです！

…そうか

……



心配ない…  
大丈夫だよ

行ってくるよ



シルヴァ姉 もしかして  
怒られ案件なのかな？  
一緒について行くのか？

そういう  
んじゃないと  
思うよ

ククル姉ちゃんも  
シルヴァ姉ちゃんに  
お姉ちゃん風  
吹かせてるです！

シルヴァ姉  
もう食べないの  
？

食欲が無いんだ  
よかったら  
食べてくれ

いただきます  
です〜！

団長室

単刀直入に  
訊くが

ここ最近  
ずっと覗いてた  
だろ？

バリエーションが  
関係ない……

私には  
伝えておくべき  
ことがある

コク……

女性団員のみんなと  
その…寝るのは…  
異常だと思うが……

どうでもい  
ただ……

クムユと  
ククルには  
手を出さないで  
くれ……

私にもその気は  
ないと言って  
おく……



解毒剤をやるよ

!!

もちろん三人分だ

他の皆みたく  
やらせてくれよ  
イッパツでいいからさ

こいつ…

こ…こいつやって

他の女性団員も  
……

まあ  
そんなとこだ

私のせいだ

私のせいで  
あの二人を  
巻き込んだ

私が二人を  
助けないと

毒が回って…  
こいつの奴隷に  
なる前に……!









あの二人の為に  
解毒剤を  
手に入れる  
んだろ？

それが出来るのは  
シルヴァ姉ちゃん  
だけだろ？



『二人の為』……

私が……  
「お姉ちゃん」の  
私が守るんだ

そっか……

……ッ……



約束はイッパツ  
だけだ  
目瞑ってれば終わるさ

その前に  
たっぷり  
楽しませて  
もらうがな



念願叶ったよ

シルヴァのおっぱい自由にしていいなんて夢みたいだ

それにしてもデカすぎだろ

こんなエロ肉ぶらさげてよく狙撃なんて出来るな

…ッ





こんな  
いやらしい真似  
するなんて……

お！  
ドラフ以外も  
出来るんだな



ち…乳首を  
摘み上げるのは  
やめてくれ…



じゃあ  
舐める  
出来るよな  
お姉ちゃん

二人の為だぞ



二人の為…  
ふたりの…



こんなこ  
気持いいなんて……

薬のせい…か…？



ほら吸え！  
舐める！

諦めて  
気持ちよく  
なっちゃまえ！





あーあー  
こんな濡らして  
まるでお漏らしだ

これは脱がないとな？

おめか...

ぬぐ...

脱いでるの...？

あれ... 私...

いい子に  
なったなあシルヴァ

もつとよく  
してやる

は...  
あ...

あ...

うあ...



撫でるだけで  
感じすぎる

身体が



イヤか？

ヤッ...

撫でてる  
ただぞ？

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

ん...

頭では不快だと  
思っ...  
ていても...



撫でただけで  
軽くイってん  
じゃねーよ

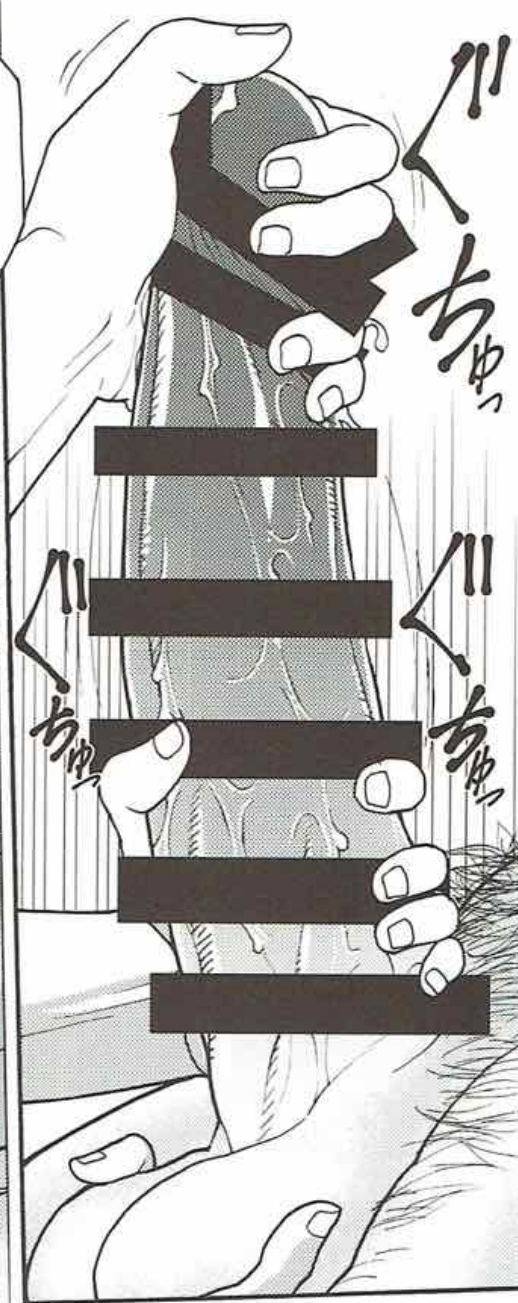
本番始まったら  
一体どうなつち  
まうんだよ



分かるか？  
この奥に俺のチンポが  
ブチ込まれるんだよ

だが  
その前に

俺のも  
濡らして  
もらわないと



こんなところ  
二人には  
見せられないな

おぞましいカタチが  
はっきり分かる...



脈動が伝わってきた  
気持ち悪い——



シルヴァアの  
その口も  
使ってくれよ

ただそれだけのGJ...

舐めるだけだ

大丈夫だ

大丈夫



なんだか  
イイ顔してきた  
ようだなあ？

薬が効いてきたのか？

ああ...  
ああ...  
ああ...



まずい...  
はあ...  
ああ...



なんだか  
あまり嫌な気分でも  
なくなつて

あたまが  
ボーっとして...

...ッ...

本当に薬が回って  
きたのだろうか  
...？

ああ...  
ああ...  
ああ...







抜くなよ!  
飲み干せ!

ヒン!!  
ヒン!!  
ヒン!!

ふん!!  
ふん!!  
ふん!!



オイオイ  
吐くなよ

ヒン!!  
ヒン!!  
ヒン!!

ヒン!!  
ヒン!!  
ヒン!!



なんて量...

本番の前に  
着替えて  
もらおうかな

飲まなきゃ  
溺れる...!

オラ  
言われたとおり  
しろよ

ハダカじゃ  
なんだと  
思ってたが  
もらったが

全裸  
変わらんか

似合ってるよ  
シルヴァ

……のッ……

……ッ

たぶ



二人の為に  
ここまでして

薬の誘惑に  
抵抗して

シルヴァは  
本当にすごいよ

やめろ……

……!



貴様なんぞに……

ゆっ

わ…私は  
絶対屈しない……



その意気だ

今からコレを  
ココに出し入れ  
するけど

シルヴァなら  
耐えられるかもな

く… 来るッ…

ついに…セックスを…

頑張ったご褒美に  
一番エグくブツ刺さる  
体勢でしてやる…

な…なにが  
「ご褒美」だ…

こんな丸見えの  
格好で…

私を

理解したふうな

ことを言って…

あのぶこいもので  
ほじくっ

完全に

屈服させる気だ…

にゅるるる

きた

きた

きた

きた

きた

きた

きた

きた

きた

きた

来たッ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

あふ

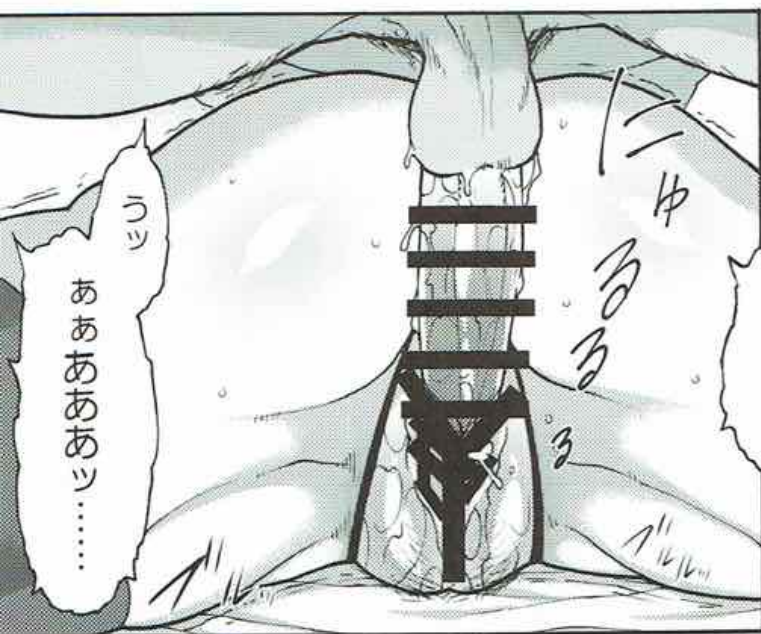
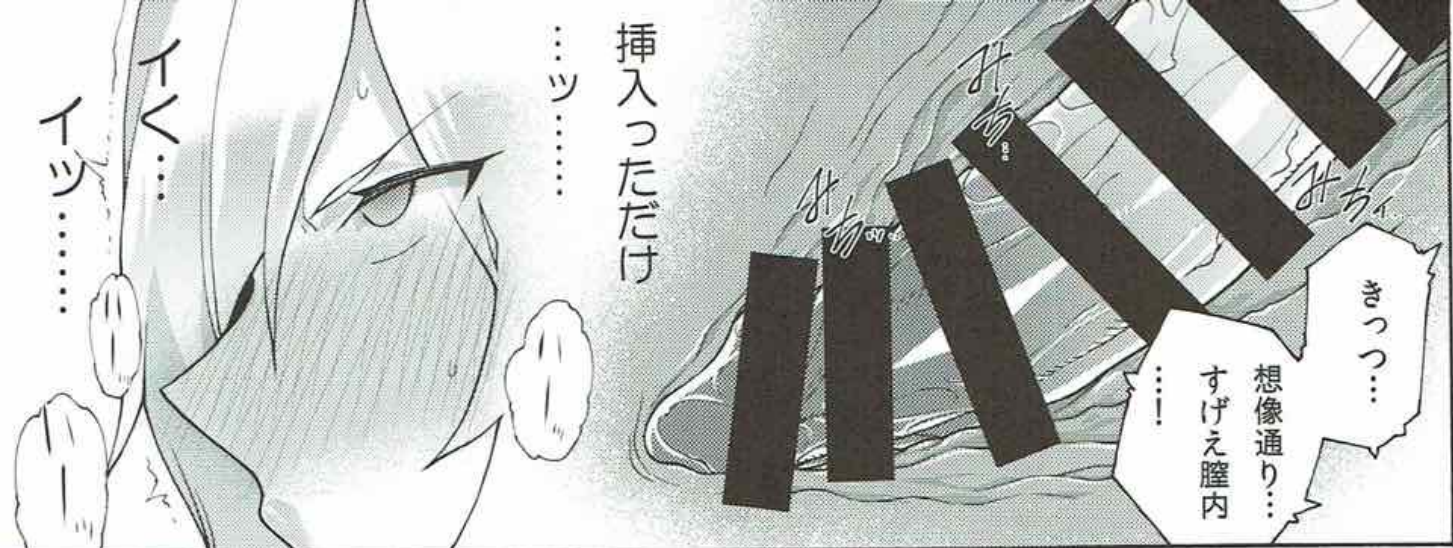
あふ

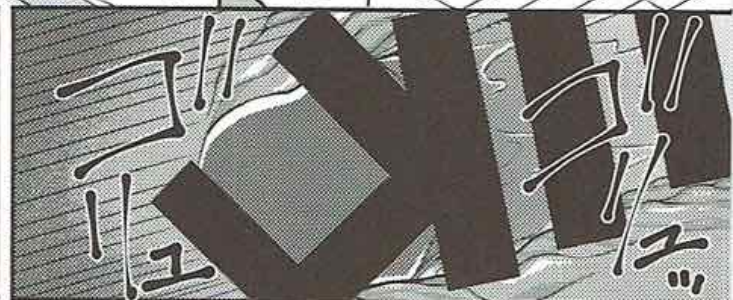
あふ

あふ

あふ

あふ







あ あれ……？

スッ

わたし

凄いのよ

スッスッ……

スッ

スッ

スッ

だめなのよ  
だめなのよ

なっ

なっ  
なっ

あ  
あ

ん  
ん

くだ

くだひゃいっ



抵抗できない



熱いのよ

スッスッ……

スッ

スッ

スッ

スッ

スッ

スッ

スッ

スッ

注がれてる……



いっほひ……  
やんやんの……



最高の一発  
だったぞ  
シルヴァ……



残念だが  
これで終わりだ

約束は約束  
だからな  
解毒薬やるよ





これで  
これ以上  
犯されない

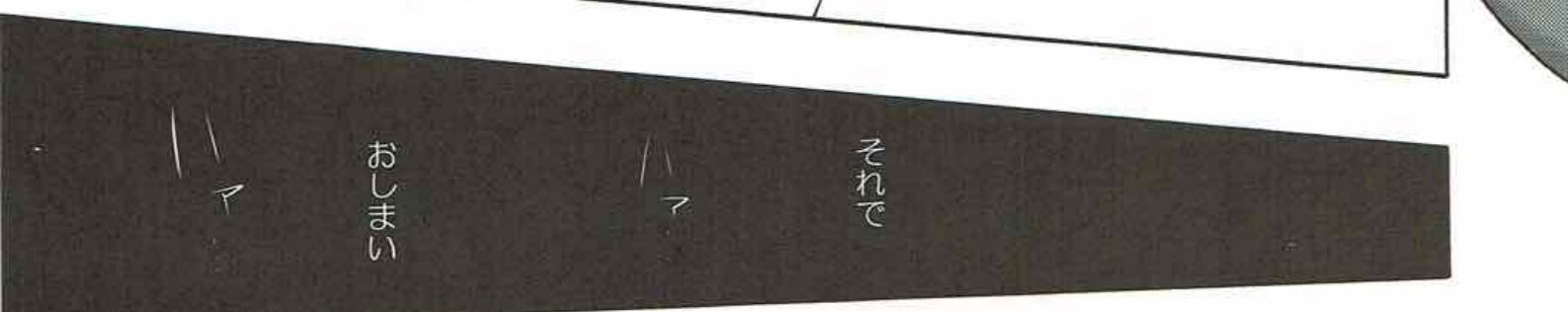
そこか……

二人を助ける……

解毒薬を飲んで

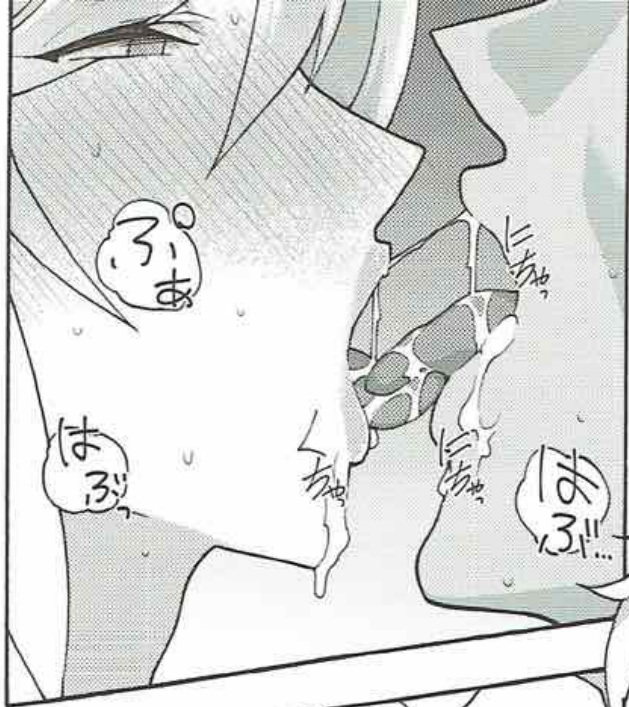


これで……終わりが……



おしま

おしま









くくく...ッ  
吸い付き すごい  
気持ちいいッ...

そうだ  
ちよつと  
待ってる

まだ飲むなよ



精液が  
ウマくなる  
飲み物として  
きてやる

まだ  
飲み込むなよ



これでもっと  
気持ちよくなれる  
からな



口開けるよ





なるよなッ!?  
俺専属の  
オナペットだ!

オラ!  
どうだッ!  
俺の  
オナペットに  
なれよッ!!!



にゅるっ  
にゅるっ  
にゅるっ

にゅるっ  
にゅるっ  
にゅるっ

にゅるっ  
にゅるっ  
にゅるっ

にゅるっ  
にゅるっ  
にゅるっ

やっと素直に  
なれたな  
お姉ちゃん!!



漏らしてる  
みたいに濡れまくって  
んじやねえか！  
ずっとイってんだろ!!!



膣がウネって...!  
ここかッ!?  
ここがイイんだろッ

白状しろッ!!



精液昇って  
きた...出すぞッ  
出るッ...~~~~ッ

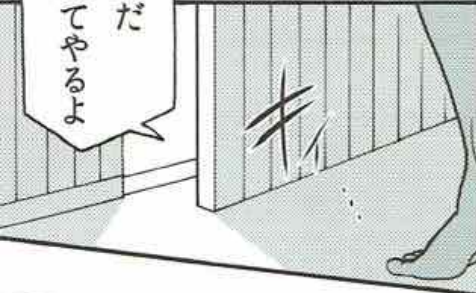


[Empty rectangular box]





心配  
するなって



まだまだ  
パコってやるよ



ちよつと休憩だ



だが  
次は――

カキヤ

この二人も  
仲間に入れて  
やらないか？



クムユ…

ククル



あれ…

セックス見られ  
ちゃったってよ  
シルヴァ



シルヴァお姉ちゃんが  
心配で来ちゃったん  
だろ

うん…

しめんなさい…

お姉ちゃんが  
パコられてるとこ  
覗いてオナってた  
んじゃないか？

なあ!!!

胸の奥が  
チリチリする…

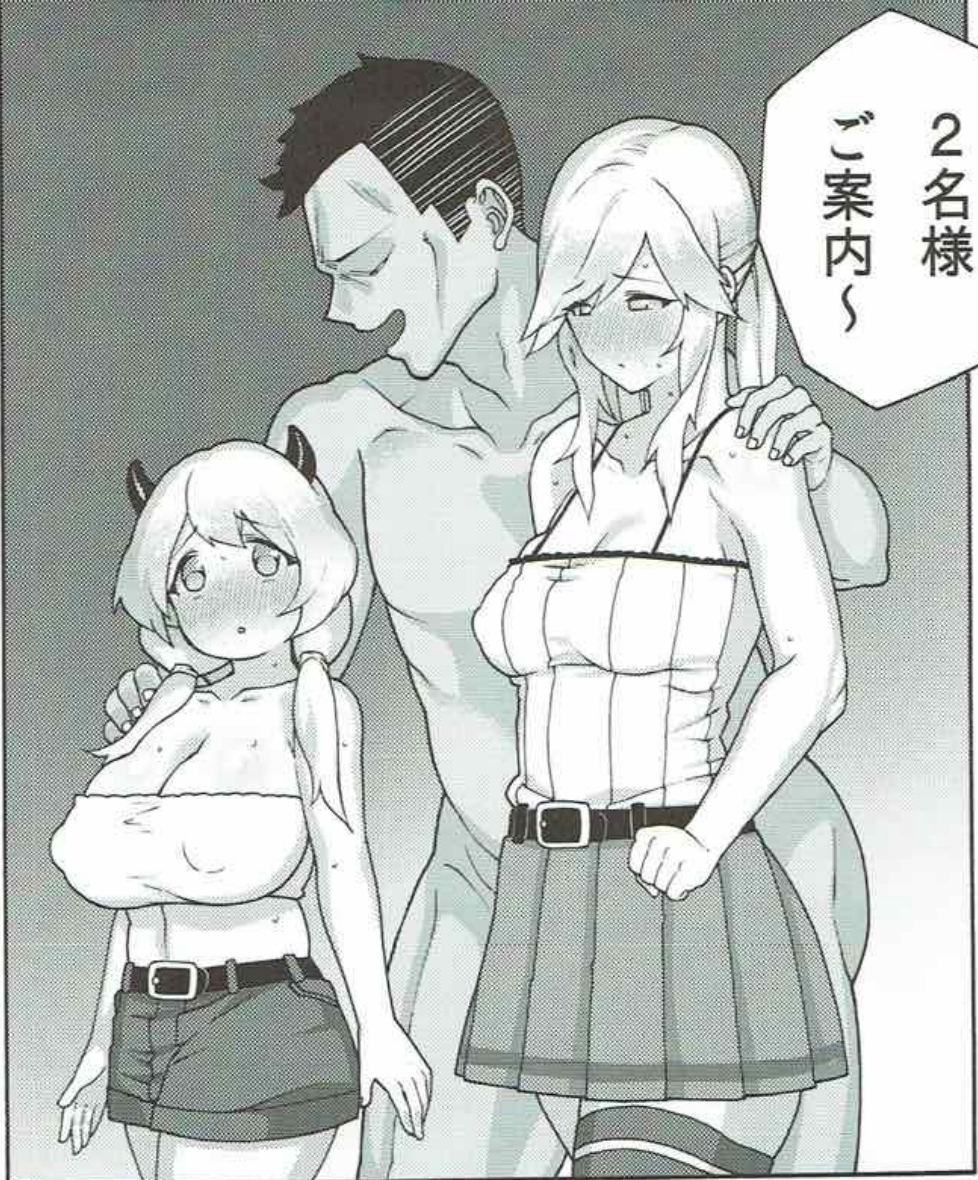
私には何か…  
すべきことが…



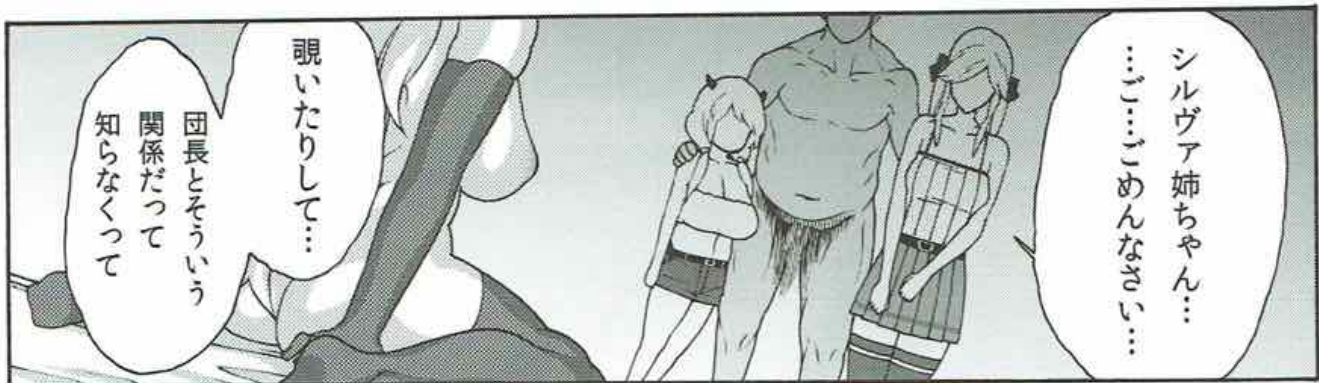
ホラ  
言わなきゃ



お姉ちゃんの  
セックス覗いて  
濡らしてました  
ってよ



2名様  
ご案内



シルヴァ姉ちゃん…  
…(…)(…)(めんなさい…

覗いたりして…

団長とそういう  
関係だって  
知らなくて



二人がしてるのを  
見て…  
ダメだって分かったた  
のに…

ダメだって  
分かってたけど…



ぴやあ...

んっ

ほら  
クムユも



身体が熱くて...

見るのもいじるのも  
やめられなくて...



あーあー  
また触り始めたぞ

だって...  
だって...



身体が熱いの...

助けて...  
シルヴァ  
姉ちゃん

あ...

なにを  
思い出せないかは  
関係ない

私は二人の  
お姉ちゃん

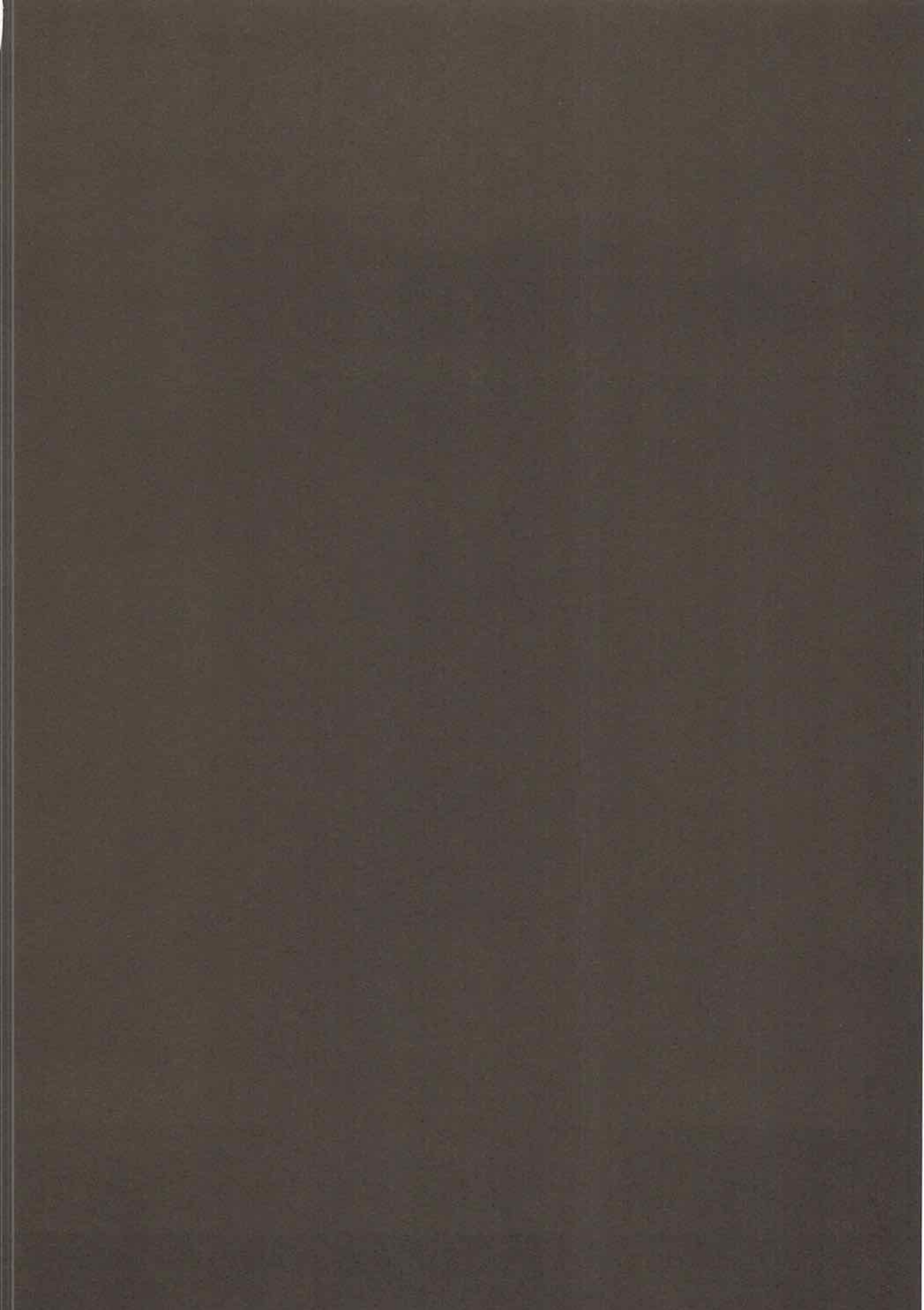
大丈夫だよ

怖がる二人を  
安心させないと

二人を

助けてあげないと

こっちおいで…



■あとかき

■どうもフラリです。

すけべ本久しぶりでした。何年ぶりか…

■普段は

ギャグ漫画ばっか書いてるド健全サークル  
なのですが今回えろ本書いて改めて思いましたが  
エロはイイ…心が洗われるようだった…

■作業

超大変だった。。たぶん頁数のせい。  
次回はこの半分くらいで導入は1コマの  
えろ本を作ってみたいです。

■今回

海苔の修正に友人のとうふさんにご協力頂きました。  
ありがとうございました！  
また次回もよろしく！

■それでは

本を手に取り、読んでくださりありがとうございました！



奥付

発行日：2017/04/30/COMIC1☆11

発行：おあん亭

印刷：Power Print 様

原作：GRANBLUE FANTASY

無断転載：だめ



ふあん亭